



教科名：

総合点検

2025年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時 期：

2 年

後期

科 目：

自動車整備作業

時限数：

32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY24	シラバスメンテナンス	3/18	合田
FY25			
FY26			
FY27			
FY28			
FY29			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科

2025年度

授業計画

時 期	2 年後期	単 元	実 習	教科名	総合点検		
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書 メンテナンス・ノート		発行日	2024年3月18日	
※ 注1 総時限	32時限				教科担	宮下 拓也	※ 注2 ●■
※ 注1 授業時間	51.2時間				当		※ 注2 ●■

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1944時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース））

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として総合点検の実務経験がある教員よりメンテナンスノートに記載してある保証について指導する。
また新車 1ヶ月、6ヶ月、1 2ヶ月点検を指導し、記録簿の記入ができるよう指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1. メンテナンス・ノートが活用できるよう習得する。
2. 保証について理解できるよう習得する。
3. 新車1ヶ月点検，新車6ヶ月点検，12ヶ月点検ができるよう習得する。
4. 点検記録簿の記入ができるよう習得する。
5. E V車とガソリン車の点検の違いが把握できるよう習得する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）

1. メンテナンス・ノートの記載内容の説明を通して理解を深め習熟する。
2. 保証の種類，内容について理解し説明できる。
3. 一人で各点検が実施できるように作業し習熟する。
4. 点検記録簿の記入できるよう練習し、習熟する。
5. 点検を通じて違いを理解し説明できる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

実習評価点は、技術評価点（70点）＋レポート評価点（15点）＋取組評価点（15点）とし、
60点以上（工学科は70点以上）を合格とする

技術評価点

実技試験：60%

①新車6ヶ月定期点検（B17）

筆記試験：40%

①保証について等。

5. 準備学習

1. 定期点検作業要領書であらかじめ点検内容を確認し、E.S.Mで車両の内容を調べておくこと。
2. 授業終了後、教員から指示された教科書の項目について復習を行うこと。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

1. メンテナンス・ノートの記載内容の説明を通して理解させる。
2. 保証の種類，内容について理解させる。
3. 一人で各点検が実施できるように作業を理解させる。
4. 点検記録簿の記入できるよう理解させる。
5. 点検を通じて違いを理解させる。

一級自動車工学科・自動車整備科		2025年度		授業計画	
時 期	2 年後期	単 元	実 習	教科名	総合点検
7．安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	フロアジャッキでの作業	・必ずリフトポイントに当てて作業を行うこと。 ・作業を行うときは声がけをすること。 ・返事がないと作業をしないこと。		・ファンベルトへの指の巻き込みに注意。	
2	リジット・ラックの使用法	・当てるポイント以外で使わないこと。 ・4 つの高さを必ずそろえること。 ・ロックピンの確認を必ず行うこと。 ・車重が均等にかかっていることを確認すること。			
3	エンジン始動時の声がけ	・周りの班員の返事がないと動かさない。			
4	2 柱リフト作動時の声がけ	・周りの班員の返事がないと動かさない。			
8．授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場			座学教室		
					
② 1 台あたり 2 ～ 3 名			② 1 台あたり 2 ～ 3 名		